



MISSION STATEMENT [使命]

東北大学は、建学以来の伝統である「研究第一」と「門戸開放」の理念を掲げ、世界最高水準の研究・教育を創造する。また、研究の成果を社会が直面する諸問題の解決に役立て、指導的人材を育成することによって、平和で公正な人類社会の実現に貢献する。

HISTORY [歴史]

東北大学は、1907年(明治40年)に、東京帝国大学、京都帝国大学に続く3番目の帝国大学として創立。設立当初から、専門学校、高等師範学校の卒業生にも門戸を開き、さらに1913年(大正2年)には、当時の政府からの圧力にも屈せず、日本の大学として初めて、3名の女子の入学を許可し、「門戸開放」が本学の不動の理念であることを世に示した。

東北帝国大学は、創立に当たって、世界の学界でトレーニングを積んだ若き俊秀が教授として集まったこともあって、研究者が独創的な研究成果を次々と生み出しながら、それを学生に対する教育にも生かすという「研究第一主義」の精神が確立された。さらに、東北大学は戦前からいち早く大学発のベンチャー企業を設立して地域産業の育成を図ったり、日常生活に最も密着した法律である家族法の研究の日本の中心になるなど、世界最先端の研究成果を社会や人々の日常生活に役立てる「実学尊重」の伝統も育んできた。

このような精神は、第二次世界大戦、戦後の成長期を経て、グローバル化が進行する現代にも生き生きと息づいている。

CONTENTS [目次]

- 01 ・ MISSION STATEMENT [使命]
・ HISTORY [歴史]
- 03 ・ 世界リーディング・ユニバーシティに向けて
・ 2006年度のレポート
・ 井上プラン
- 05 ・ 世界で一番使われている薬を開発
- 06 ・ 肥満や糖尿病を改善するメカニズムを発見
- 07 ・ 目や脳の一部をナノマシンで機能回復
- 08 ・ アイデアがひらめく瞬間を科学で解明
- 09 ・ 世界が認めた超高速ネットワークが情報通信の未来を拓く
- 10 ・ 顕微鏡の中で壮大な地球内部構造の謎を突きとめる
- 11 ・ 「自分ゼミ」から生まれる新しい教育の姿
- 12 ・ 手の触感レベルの追求でロボティクスの新たな未来へ
- 13 ・ 2006年度の主な受賞・受章
- 15 ・ 進化を続ける充実した教育
- 17 ・ 多彩な才能がきらめく学生活動
- 19 ・ 産学連携で知的資源を社会に
- 21 ・ 国際交流の取り組み
- 23 ・ 社会貢献・男女共同参画
- 25 ・ 東北大学 創立100周年へ向けて
- 26 ・ 新キャンパス構想
- 27 ・ 部局等の主な成果
- 29 ・ 連絡先・東北大学の位置
- 30 ・ データで見る東北大学の概要

[写真]

表紙 / 東北大学本部本館(片平キャンパス)

目次 / 工学部・工学研究科ケヤキ並木(青葉山キャンパス)

[本冊子は、2006年4月から2007年3月までの東北大学全体の活動内容報告です。]